

一 世界広布と創価学会① 創価学会の歴史

※創価学会の歴史について、次ページの語群から言葉を選んで次の文章を完成させなさい。

現代において日蓮大聖人の精神を継承し、世界広宣流布の使命を自覚し、その実現のために実践し抜いてきた教団が（創価学会）です。

現代における広宣流布の自覚と実践を確立した指導者が（牧口常三郎）初代会長、（戸田城聖）第二代会長、（池田大作）第三代会長・のGIE会長の二代会長です。

「創価」とは（価値創造）という意味です。

創価学会は当初（創価教育学会）という名称で発足しました。この名称で『創価教育学体系』が発刊された昭和5年（11月18日）が創価学会の創立記念日になっています。投獄を経て昭和2の年（7月3日）に出獄した戸田先生が、教育改革だけではなく、全民衆の幸福と世界平和を実現するとの目的に即して名称を「創価学会」と改めました。

戦時下の昭和18年の6月、軍部政府の弾圧を恐れた宗門は創価学会に対して（神札）を受けるよう通達しましたが、学会は日蓮大聖人が示された（謗法厳誠）の教えを貫き、（神札）の受け取りを拒否しました。

戸田先生の獄中での悟達が戦後創価学会発展の原点となります。

それは（仏とは生命である）と（われ地涌の菩薩なり）です。

（5月3日）は昭和26年に戸田先生が、昭和35年に池田先生が会長に就任した日です。戸田先生は第二代会長就任に際して（75万）世帯の折伏を誓願し、大折伏戦を展開。その先頭に立たれたのが若き日の（池田先生）でした。

昭和27年4月、立宗70の年の節目に『（日蓮大聖人御書全集）』を発刊し、（御書）根本の精神が確立されていきます。

昭和32年（9月8日）戸田先生は創価学会の平和運動の基調となる（原水爆禁止宣言）を発表しました。

権力の魔性との戦いとして、北海道で起きた（夕張炭労）事件、無実の選挙違反容疑で池田先生が投獄された（大阪）事件などがあげられます。

昭和33年（3月16日）、戸田先生から池田先生をはじめとする青年部に広布の一切を託す儀式が行なされました。

池田先生は昭和35年（5月3日）に第三代会長に就任し、同年（10月2日）に世界広布の第一歩を踏み出しました。

昭和5の年グアムで発足したのGIEとは（創価学会インターナショナル）の略称です。

池田先生は創価学会の歴史と精神を残すために聖教新聞に（小説『人間革命』）の連載を開始。現在の（小説『新・人間革命』）に続いています。

昭和52年頃から宗門による学会批判が表面化し、池田先生は学会員を守るために連載を開始。現在の（小説『新・人間革命』）に続いています。

昭和（54年4月）24日に第三代会長を勇退して名誉会長になりました。

牧口常三郎	戸田城聖	池田大作	創価学会	夕張炭労	大阪	東京
価値創造	原水爆禁止宣言	創価教育学体系	人間革命	新・人間革命		
仏とは生命である	われ地涌の菩薩なり	人の振る舞い				
日蓮大聖人御書全集	創価教育学会					
創価学会インター・ショナル	神札	誦法厳誠	随方毘尼	人間共和		
昭和35年	昭和54年	4月 5月	75万	750万	7万	
11月18日	5月3日	7月3日	10月2日			

※次に挙げる年月日に当たる事柄を語群から選んで記入しなさい。

昭和5年11月18日	(創価学会の創立
昭和20年7月3日	(戸田先生の出獄
昭和22年8月24日	(池田先生の入信
昭和26年5月3日	(戸田先生の第二代会長就任
昭和32年7月3日	(池田先生の入獄
昭和32年7月13日	(池田先生の出獄
昭和33年3月16日	(広宣流布記念の日
昭和33年4月10日	(戸田先生の逝去
昭和35年1月26日	(池田先生の第三代会長就任
昭和35年2月24日	(池田先生・世界広布の第一歩
昭和50年1月26日	(SG I 発足
昭和50年2月24日	(池田先生の第三代会長勇退

戸田先生の第二代会長就任	創価学会の創立	広宣流布記念の日
池田先生の第三代会長就任	戸田先生の出獄	池田先生の入信
池田先生の入獄	池田先生・世界広布の第一歩	SG I の発足
池田先生の出獄	戸田先生の逝去	池田先生の第三代会長勇退